

2021年1月10日

泌尿器・副腎・腎移植外科に、過去に通院・入院された患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] ドセタキセル療法を受けた去勢抵抗性前立腺癌患者における modified GPS の予後予測因子としての有用性を調べる後ろ向き研究

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 松田 伊織 香川大学医学部附属病院泌尿器・副腎・腎移植外科 医員

[研究の目的] 去勢抵抗性前立腺癌と診断をされ、ドセタキセル治療を受けた患者さんに対して、血液検査における CRP と A1b の数値と予後の関連性について調査することで、予後予測の正確性を向上させるため

[研究の方法]

対象となる患者さん

去勢抵抗性前立腺癌の患者さんで2001年4月1日から2019年12月31日の間に、泌尿器・副腎・腎移植外科に通院・入院でドセタキセル治療を受けた方

利用する検体・診療情報

診療情報：年齢、性別、前立腺癌の診断日、診断時 PSA、Gleason score を含んだ病理診断結果、診断時のステージング、転移部位、一次ホルモン療法開始日、ドセタキセル前治療の内容、去勢抵抗性前立腺癌の診断日、ドセタキセル投与日、ドセタキセル投与期間・コース、初回ドセタキセル投与直前(直後)の採血データ (PSA、CRP、A1b)、ドセタキセルの投与量、ドセタキセル療法開始後の生存期間、ドセタキセル療法終了後の生存期間

[研究組織]

香川大学医学部附属病院 泌尿器・副腎・腎移植外科 松田 伊織

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院泌尿器・副腎・腎移植外科

担当医師 松田伊織

電話 087-891-2202 FAX 087-891-2203